



第 2 号

76 期の



— 内容 —

- 学年主任より
- GW の課題・連絡
- 学年団の先生方の紹介
(担任)
- 担任コラム
～私の高校時代～



学年主任より

まもなく高校生になり 1 ヶ月が経とうとしています。中学生の学習習慣から高校生の学習習慣へとシフトしてきていますか？毎日予習復習をする習慣になってきましたか？特に復習は「忘れないようにする」ために必要です。

さて、GW の連休が明けると中間考査 2 週間前になります。初めての高校での定期考査を、しっかり目標を立てて取り組んでください。その目標を達成するために、わからない問題など質問をすることがあるかと思いますが、質問の仕方について一言。「具体的な質問じゃないと定着しない」ということです。解き方を 1 から聞くのではなくて、解説をちゃんと読んで、解説のわからないところを見つけてください。そうすると、「先生、この問題を教えて」から「先生、この問題の解説のこの部分ってなんでこうなるの？」に変わります。このような質問ができるようになると、自分のつまずきが明確になります。この内容は私が読んでいた『一生の武器になる勉強法』（葉一 著）【株式会社 KADOKAWA】に書かれています。皆さんの質問の仕方を楽しみにしています。「学びの WA」を広げていきましょう。

(76期学年主任 伊藤)



GWの課題・連絡

ここに掲載している教科以外にも、日々の宿題等で課題が出されているはずですが、GWが明けると、中間テスト2週間前です。日々の学習も含め、**岸高手帳**を活用して、計画的に学習を進められるようにしましょう。

現代文・古典

GWの課題は特にありません。

通常授業の予習・復習と、中間考査に向けての課題を各自で進めてください。

数Ⅰ・数Ⅱ

特にGW中の課題は課しませんが、チェックシートを利用して4STEPをきちんと進めていきましょう。この期間で今まで習った知識を定着させましょう！

理数化学

やるべきことをやりなさい。

英語C

これまでに習った Lesson の各 Part を Worksheet B のリストに従って復習し、全 Part の Summary Writing（要約）も完成させておくこと。

英語G

①GW明けに例文小テストがあります（実施日については各担当者より連絡）。普段から Lesson が終わるごとに例文の暗記に取り組んでいますか？ そうじゃない人は、今すぐ準備を始めましょう！

②Essay Writing（授業で配られた用紙に英語で作文を書きましょう）



学年団の先生方の紹介（担任）

1 組

- 【名前】 宮崎 恵二(みやさき けいじ)
- 【担当教科・科目】 理数生物（2年生の理数地学も）・SD
- 【顧問クラブ】 女子バレーボール部・天体部(どちらも主顧問で、どちらも専門としている)
- 【趣味】 家族と遊ぶこと、バレーボール、プロレス観戦
- 【座右の銘】 やることやればなんとかなる
- 【76期へひとこと！】 やらない後悔は一生残ります。失敗してもいいので“やりたいこと”“やらなあかんこと”“やっといたほうがいいこと”“やるかやらんかどうしよ”ということは、まずやっておきましょう。



2 組

- 【名前】 中辻 美由紀
- 【担当教科・科目】 国語・SD
- 【顧問クラブ】 水泳部・書道部
- 【76期へひとこと！】 よろしくお願ひします。



3 組

- 【名前】 三好 健司
- 【担当教科・科目】 英語C・英語G・SD
- 【顧問クラブ】 柔道部・ESS
- 【趣味】 柔道、合気道
- 【好きなもの】 マンガ（週刊少年ジャンプ）、小説（ミステリーもの）、キングダムハーツ、イギリス
- 【座右の銘】 ノブレスオブリージュ
Life is not a matter of holding good cards, but of playing a poor hand well. (Robert Louis Stevenson)
- 【朝読にお勧めの本】 3組の学級文庫に三好が追加した本すべて
- 【76期へひとこと！】 ミステリー小説が読みたくなったら、3組の学級文庫まで！



4 組

【名前】	伊藤 功士
【担当教科・科目】	数学（数Ⅰ・数Ⅱ）・SD
【顧問クラブ】	硬式野球部・アニメーション研究部
【趣味】	Outdoor、Rock Crawler、筋トレ
【特技】	鉄のフライパンのシーズニング、鶏肉を焼くこと
【好きなもの】	車、BBQ、野球、snow peak、mizunoPro
【76期へひとこと！】	煉獄さんの言葉を借りて、



「心を燃やせ！！！」

5 組

【名前】	中野 祐奈
【担当教科・科目】	英語C・SD
【顧問クラブ】	男女バレーボール部・ESS
【趣味】	エスニック部活動（私的にクラブを結成し活動しています。 主な活動内容は、異国の料理を学び、作り、食し、楽しむことです。）
【好きなもの】	うさぎ🐰、トマト、山と港と異国情緒のある街（函館・神戸・長崎など）
【朝読にお勧めの本】	「ももこの世界あっちこちめぐり」 ↑中学の時に読んで、エスニック料理を作ってみるきっかけとなった本です。海外に行けない昨今、作者の珍道中を楽しみながら、旅行気分を味わうこともできます。気楽に読めますし、最近文庫本になったそうなので、よかったら読んでみてください。
【76期へひとこと！】	なんでもチャレンジしてみましよう！そして、チャレンジする人を応援しましょう！76期のWAがそういう場所になってほしいと願っています。



6組

- 【名前】 林 拓志
- 【担当教科・科目】 数学（I・Aどちらも）・SD
- 【顧問クラブ】 女子バスケットボール部・男子バスケットボール部
- 【趣味】 ラーメン 食べること全般
- 【特技】 焼豚を作る
- 【好きなもの】 クレープ ポケモン
SFC～PS時代のRPG（スマホゲームは否定派です）
- 【座右の銘】 「成功」とは自分が成り得る最上のものとなるために、全てを出し尽くしたと自覚したときに訪れる満足感のことである。
（UCLA大学バスケットボール部 ヘッドコーチ John R. Wooden）
- 【76期へひとこと！】 高校生となったからには、これから先はすべての選択が自己責任です。
一つ一つの行動をよく考えて、日々を無駄にしないように過ごして下さい。



7組

- 【名前】 俣野 文孝
- 【担当教科・科目】 地歴公民科・SD（+3年のGG）
- 【顧問クラブ】 放送部・男子バスケットボール部
- 【趣味】 はんこ集め、ご当地のもの集め
- 【好きなもの】 おいしい食べ物
- 【76期へひとこと！】 自分自身、後悔のない高校生活を送ってください！



8組

- 【名前】 曾野 玲子
- 【担当教科・科目】 英C・英G・SD
- 【顧問クラブ】 音体部・少林寺拳法部
- 【趣味】 旅行、カラオケ（どちらもしばらく行けていません）
- 【特技】 ピアノ、イントロクイズ
- 【好きなもの】 音楽、ミュージカル、旅行
- 【座右の銘】 「置かれた場所で咲きなさい」「天知る、地知る、汝知る」
- 【朝読にお勧めの本】 「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」
（↑8組の棚にあります）
- 【76期へひとこと！】 岸高1年目、元気で毎日を楽しむこと、それが一番！！





担任コラム ～私の高校時代～

今回より各クラスの担任の先生方に執筆して頂き、コラム「私の高校時代」をスタートします。今回は

「Q. 高校時代、部活と勉強をどのように両立させていましたか？」

という質問に答えていただきました。76期のみなさん、ぜひ参考にしてください！

1 組担任（宮崎先生）

両立をした覚えはありません。勉強は勉強、部活は部活で頑張っていました。ただ、今思えばもっと努力することはできたかなと感じています。

勉強面は、センター試験でこけて前期試験に落ちて、後期試験でなんとか合格しました。結果的に志望校に合格はしましたが、今思えばギリギリのラインだったのだからと感じています。

部活面では、一生懸命やっていたつもりですが、後輩にレギュラーの座を取られてしまったので、もっと腕を磨くための努力をしておくべきでした。（当時はやっていると思っていましたが、思い返すと・・・）

今の自分がいるのは、高校時代を含む過去の積み重ねによる結果です。まったく後悔はしていないし、人生をとっても楽しんでいます。それでもふと「あの時、もっとこうしておけばなぁ」と考える瞬間は多々あります。やっぱり、やらない後悔は一生残るんだなと常々感じさせられます。勉強も部活も、やりすぎることは絶対がないので、休憩もしながらやるだけやってください。

2 組担任（中辻先生）

高校時代はかなり遠い過去なのであまり覚えていないのですが・・・活動時間の長い吹奏楽部でしたが、普通に両立させていたと思います。

部活に入ることを選んだのも自分、その部活に決めたのも自分です。部活のせいで勉強できないということは決してないと思います。

みなさんの3年間の部活も勉強も全力で応援しています。頑張ってください。

3 組担任（三好先生）

サッカー部でしたが、基本的に毎日練習があったので、日々疲れ&眠気との闘いでした。

平日 → 晩ご飯&お風呂後（8時半ぐらい）から勉強開始。「宿題や予習を終えるまではゲーム・マンガ禁止」というルールを自分に課していました。ゲーム・マンガに触れられない日も多々。

休日 → だいたい、（午前）練習→（帰宅後）夕方まで昼寝→（晩ご飯後）勉強、という流れ。平日は2時間ぐらいしか勉強に使えなかったため、休日は頑張って勉強していました。

英語 → ①中3の時に単語を詰め込むのに苦労したので、高校に入ってから、知らない単語はその都度覚えるようにしていました。

②英文法の宿題の答えを友達によく聞かれたが、間違った答えを教えて僕のせいにされるのが嫌だったので、答えを教える時はできるだけ教科書や参考書を開いて、「ここにこう書いてあるから答えは〇〇なんちゃう？」と説明していました。参考書を開いた回数は学年1だったと思います。

その他 → ・塾に行っていなかったので、授業中は絶対に寝ないようにしていました。

・自転車登下校の間（40分間ぐらい）ヒマだったので、行きは前日の夜に勉強したこと、帰りは授業で習ったことを思い出すということをよくしていました（良い子は運転に集中しましょう）。思い出せず、腹が立つことばかりでした。

4 組担任（伊藤先生）

一言でいえば負けず嫌いだということでした。

硬式野球部に所属していた部活に関して言えば、チームメイトに常に負けたくないと思って頑張っていました。仲間でありライバルでもあった同期は最高のメンバーでした。仲間がいたから頑張ることができました。

勉強に関しては、数学は好きだったので数学は1番を常に狙っていました。周りは自分より賢い人だらけだったので、すごく刺激がある環境の中で負けたくないという思いを持って頑張ることができたと思っています。

両立ができていたと胸を張って言えませんが、「これだけは！」と思うことに関すればどちらも負けたくないという思いを大事にしていました。

5 組担任（中野先生）

部活と勉強（と学校行事・家での役割・睡眠・遊び！）を両立させるために、勉強の効率化を心がけていました。特に重視していたのは、①授業に超集中すること、②速読の技術を身につけること、の2点です。

①：できるだけ授業時間内に全てをマスターしよう！という気持ちで授業を受けていました。友達に「あんた授業中めっちゃやる気まんまんやん！」と言われるぐらい、前のめりで受けていたようです。授業中の隙間時間（プリント配布の合間や、問題演習が早く終わった時など）も有効活用し、復習を行うなどしていました。

②：速読技術を身につけることで、予習にかかる時間が大幅に削減されました。特に英語に関しては、集中すると普通の3倍程度のスピードで読むことができるよう練習しました。速度術は後の人生でも大いに役に立ちました。

偉そうに書いていますが、常に両立できていたと胸を張って言えるわけではありません。ただ、このように心がけて頑張ろうとしていた…ということは事実です！みなさんも、それぞれ工夫をし自分に合った習慣を身につけ、悔いのない高校生活をおくってくださいね。

6 組担任（林先生）

あまり意識はしていませんでしたが、授業はきちんと受けていたはずですが。人生でたった一度だけ、次の日の定期考査の科目を間違えて勉強して、学校についてから気づくということがありました。（確か現代文）「終わった・・・」と思いましたが、授業の内容がおぼろげに頭に入っていたので70点弱で抑えることができた記憶があります。授業の内容をその場で覚えてしまうくらいの意識で受けましょう。自主学習もぐっと楽になるはずですよ。

7 組担任（俣野先生）

正直言うと、高校生活の途中で部活と勉強の両立は断念するに至りました…

授業はとにかく大事にはしていましたが、それだけでした。今思うと、「もっとできたのちゃうかな？」と思うことは多々あります。中途半端を増やすのではなく、やりきることが大事なのかなと思ったりしています…

8 組担任（曾野先生）

高校時代、ソフトテニス部に所属していました。定時制があったので6時に全クラブ一斉に下校、そのため如何に短い練習時間で強くなるか、「頭を使いなさい」と常に顧問の先生に言われていました。入学当初は「来る学校間違えた」と心底思うくらい周りは賢く見えたし、勉強させられました（予習や復習をしなければみんなの前ですごく怒られるので必死でした）。でも部活に入っていたことで部活とクラスの両方に友達ことができました。その友達から学んだことは、優秀な人ほど思いやりがあって包容力があって、人格的にも素晴らしいということです。「私もこんな人になりたい」と思わせてくれる友人に多く出会えたことは本当に幸運だと思います。また、大人になって思うのは「勉強頑張ってた良かったな」ということに尽きます。そのお陰であの頃想像できなかったような、海外での夢のような経験や、今も常に連絡を取り合い心配し合える友人がたくさんいるからです。毎日眠い目こすりながら勉強したり、クラブ活動に励むこれからの日々は、あなたたちにとって財産になります。その忙しさ、やることの多さ（充実した日々）を存分に楽しんでほしいと思います。

